

2024／年報

令和6年度

No.32

山形県立うきたむ風土記の丘考古資料館

は じ め に

コロナ禍で令和2年度に3,882人まで落ち込んだ入館者が令和5年度に7,293人まで回復し、令和6年度にはさらに増加するものと期待していましたが、結果的には前年度から1,000人以上減らすこととなりました。庄内方面からの修学旅行に伴う来館者や赤ちゃん手形時の入館者が前年度より減ったことに加え、一般入館者もコロナ前には及ばない状況が続いています。

今年度の特別テーマ展は「遊佐町の考古学Ⅰー旧石器時代から縄文時代ー」と題し、6月15（土）から9月8日（日）まで開催しました。展示は8章構成とし1章の旧石器時代では46点の石器を、2章から5章では縄文時代早期から晩期までの土器を129点展示しました。6章では縄文時代の石器を222点展示し、7章では縄文時代の生業に関わる資料を45点、8章では精神生活、物流・交流に関する資料を156点展示しました。会期中に81頁の展示図録を刊行するとともに、館長講座を2回開催しました。

第32回企画展は「やまがたの遺跡の中のカミ・ホトケ」とし、9月14日（土）から12月1日（日）まで開催しました。これまでに県内で調査された遺跡から、祭祀に関連する遺構・遺物の展示を行い、山形県における古代から近世までの、人々とカミ・ホトケとの関りについて考えることをテーマとしました。展示は4章構成としました。1章「祈りの形」では仏像・神像や形代などの祭祀遺物を、2章「書き残された祈り」では人形、舟形、武器形などの形代を展示しました。第3章「祈りの場」では寺院跡や仏堂跡と考えられる遺跡・遺構・遺物を紹介し、4章「祈りの風景」では祭祀遺構や埋葬遺構、経塚と出土品を紹介しました。企画展開催中に90頁の展示図録を刊行すると共に、考古学セミナーを3回開催し、6名の講師陣による講義をお聞きしました。講義の様子は録画したビデオをホームページ上で公開しました。また、会期中に企画展講演会を開催する計画でしたが、講師の三上喜孝先生の急病で一旦中止となりました。先生のご回復により、3月9日にオンラインで開催することができました。

コロナ禍が収まった結果、県内6年生の修学旅行による学校の利用は昨年よりさらに半減し、小学校8校 中学校0校 特別支援学校0校 大学1学に留まりました。

7月8日（土）～9月22日（金）には、2024「第4回kid's考古学新聞」の入賞作品の全国巡回展を開催しました。県内からの入賞は今年もなかったのですが、全国各地の小学生の作品等27点のパネルを展示しました。期間中の入館者は1,592人となりました。

当館の催し物で最も多くの参加者がある「赤ちゃんの手形をつくろう」は4月27日～29日、5月3～6日の7日間開催しましたが、参加人数2,212名、手形・足形個数564個と昨年を下回りました。

その他の「体験事業・研修事業」もほぼ当初計画どおりに開催できましたが、参加人数は落ち込んだままとなっています。遺跡の旅は「群馬県北部の遺跡」を見学し、遺跡めぐりも春は酒田市、秋は多賀城市・七ヶ浜町と予定どおり開催することができ、ほぼ定員いっぱい参加者がありました。昨年度再開したうきたむ学講座も今期は2回の講座を開講できました。

末尾になりましたが、何かとご支援賜りました山形県観光文化スポーツ部県民文化芸術振興課、公益財団法人山形県埋蔵文化財センター、県内各市町・教育委員会、東北芸術工科大学、米沢女子短期大学、うきたむ考古の会、山形考古学会の皆様には深く感謝申し上げます。

令和7年3月31日

館 長 渋谷 孝 雄

目 次

1. 施設概要	1
2. 開館後のあゆみ	3
3. 展示の概要	9
(1) 常設展示	
(2) 企画展示	
4. 教育普及活動	13
(1) 講演会・ギャラリートーク	
(2) 体験事業	
(3) 研修事業	
(4) 共催事業	
(5) 学校教育との連携	
(6) その他	
5. 資料の活用	18
(1) 写真利用	
(2) 刊行物一覧	
6. 入館者	19
(1) 令和6年度 月別入館者	
(2) 主な入館団体	
(3) 来館者アンケート	
7. 管理及び運営	21
(1) 組織・職員	
(2) 運営協議会	
8. 受贈図書	22

1. 施 設 概 要

(1) 設置の趣旨

山形県立うきたむ風土記の丘考古資料館は、本県にとっての歴史上重要な古代の遺跡に関する資料の収集、保管及び展示を行うとともに、風土記の丘の中心として設置するものである。

(2) 沿革

昭和 51 年度	第 6 次山形県総合開発計画及び第 2 次山形県教育振興計画において、風土記の丘（歴史公園）建設構想提示
昭和 56 年度	風土記の丘実態調査を実施し、候補予定地は、高畠町の洞窟遺跡群を中心とする置賜地域が適当と報告
昭和 60 年度	第 7 次山形県総合開発計画及び第 3 次山形県教育振興計画において、候補地区を高畠町を中心とする置賜地区に位置付け
昭和 61 年度	風土記の丘基本構想・計画を作成
平成 2 年度	考古資料館の基本・実施設計を作成
平成 3 年度	高畠町有地を借用し、考古資料館本体工事着工、展示工事着工
平成 4 年度	考古資料館建物本体・展示工事完成、考古資料館外構工事・植栽工事施工 名称を「うきたむ風土記の丘考古資料館」に決定
平成 5 年度	4 月 23 日考古資料館開館
令和元年度	考古資料館研修室、資料室、事務室 空調設備更新
令和 3 年度	考古資料館屋根改修工事
令和 4 年度	常設展示室、企画展示室、収蔵庫の 空調設備改修工事

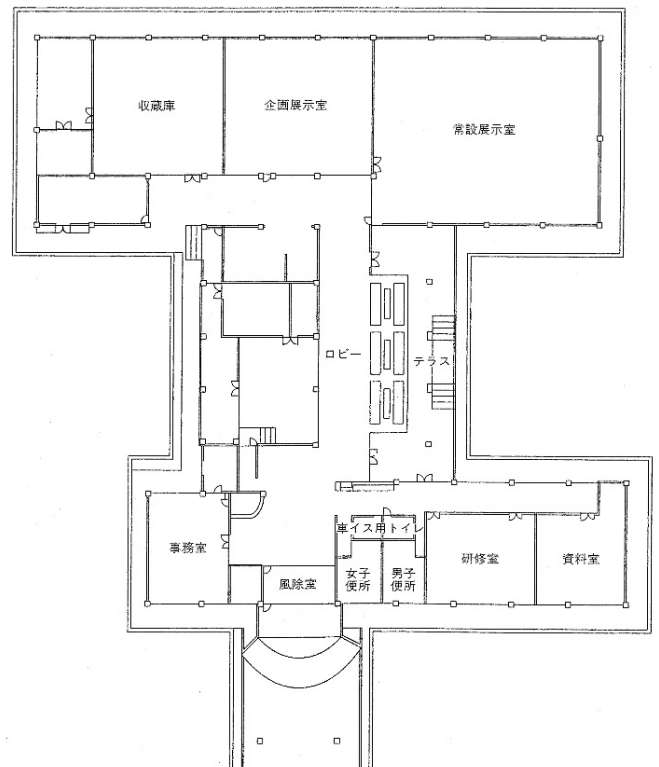
(3) 施設

鉄筋コンクリート造平屋建て

敷地面積：7,000 m²

延床面積：1,358.24 m²

常設展示室	279.00 m ²
企画展示室	129.37 m ²
収蔵庫（2 層）	129.37 m ²
研修室	125.70 m ²
事務室	67.50 m ²
作業室・荷解室	51.75 m ²
ロビー・ホール	336.85 m ²
その他（機械室等）	238.70 m ²



[山形県立うきたむ風土記の丘考古資料館平面図]

- (4) 所在地 山形県東置賜郡高畠町大字安久津 2117
JR 高畠駅よりタクシーで 15 分
JR 高畠駅より自転車で 40 分
※高畠駅にレンタサイクルがあり「まほろばの緑道」のサイクリング道がある
- (5) 開館時間 AM9:30～PM4:30 (入館は 4:00 まで)
- (6) 休館日 月曜日、国民の祝日 (こどもの日と文化の日は無料開館)
年末年始 (12 月 28 日～1 月 4 日)
大型連休中は、臨時開館の場合あり
燻蒸作業のため臨時休館の場合あり
- (7) 入館料金 一般 200 円 (150 円)、大学生 100 円 (70 円)、高校生以下無料
() は 20 名以上の団体料金 (1 人につき)
- (8) 入館料の減免 次の基準により減免 (無料入館)
1. こどもの日・文化の日・その他教育委員会が指定する日において、資料館が主催する教育、学術及び文化の普及向上に資する行事に参加する者については入館料を免除する
 2. 前項に規定する者のほか、入館料の減免を受けることができる者は、次の各号に該当する者とする
 - 1) 教育課程に基づく教育活動として入館する児童、生徒、学生及びこれらの引率者
 - 2) その他教育委員会が公益上特に必要があると認める者※上記の入館料の減免を受けようとする者は、入館料減免申請書を考古資料館に提出すること
 - 3) 身体障害者手帳、精神障害者保健福祉手帳及び療育手帳の交付を受けている者、並びにその付添い

2. 開館後のあゆみ

※過去10年分のみ記載

【企画展示】

年度	種 別	展 示 テ ー マ	期 間
H26	特別テーマ展	「押出遺跡の新資料」	6月14日(土)～9月24日(水)
	第22回企画展	「弥生時代の山形」	10月1日(水)～11月30日(日)
	テーマ展	「古代・中世の考古資料」	12月7日(日)～3月31日(火)
27	特別テーマ展	「災害と祈り」	6月6日(土)～8月5日(水)
	第23回企画展	「重要文化財 水木田遺跡展」	10月1日(木)～12月27日(日)
	町村合併60周年 記念特別展	「たかはた美術館」展	8月8日(土)～9月20日(日)
	テーマ展	「古墳時代から中世の考古資料」	
28	特別テーマ展	「遺跡今昔物語ーいせきこんじゃくものがたりー」	6月11日(土)～9月11日(日)
	第24回企画展	「森と暮せばー縄文人の植物利用ー」	9月17日(土)～12月4日(日)
	テーマ展	「古墳時代から中世の考古資料」	
29	特別テーマ展	「くらべてみよう今と昔ー台所編ー」	6月10日(土)～9月10日(日)
	第25回企画展	「木と生きるー弥生・古墳時代の木製品ー」	9月16日(土)～12月3日(日)
	テーマ展	「古墳時代から中世の考古資料」	
30	特別テーマ展	「押出遺跡の6次調査と山形県内の縄文前期後半の世界」	6月9日(土)～9月9日(日)
	第26回企画展	「木は語るー古代から近世の木簡と木製品ー」	9月15日(土)～12月2日(日)
	テーマ展	「古墳時代から中世の考古資料」	
R1	特別テーマ展	「花沢A遺跡と置賜の縄文時代中期後半の世界」	6月8日(土)～9月8日(日)
	第27回企画展	「縄文時代後期の山形」	9月14日(土)～12月1日(日)
	テーマ展	「古墳時代から中世の考古資料」	
2	第28回企画展	「水木田遺跡と縄文時代中期前半の山形」	9月12日(土)～12月6日(日)
	テーマ展	「古墳時代から中世の考古資料」	
3	特別テーマ展	「小国町の考古学」	6月12日(土)～9月5日(日)
	第29回企画展	「山形県の近世城郭と出土品」	9月11日(土)～12月5日(日)
	テーマ展	「古墳時代から中世の考古資料」	
4	特別テーマ展	「高瀬山の考古学Ⅰー旧石器時代・縄文時代ー」	6月11日(土)～9月4日(日)
	第30回企画展	「最上地域の縄文時代」	9月10日(土)～12月4日(日)
	テーマ展	「古墳時代から中世の考古資料」	
5	特別テーマ展	「高瀬山の考古学Ⅱー弥生時代から中世ー」	6月10日(土)～9月3日(日)
	第31回企画展	「山形県内の指定文化財ー考古資料ー」	9月9日(土)～12月3日(日)
	テーマ展	「古墳時代から中世の考古資料」	
6	特別テーマ展	「遊佐町の考古学Ⅰー旧石器時代から縄文時代ー」	6月15日(土)～9月8日(日)
	第32回企画展	「やまがたの遺跡の中のカミ・ホトケ」	9月14日(土)～12月1日(日)
	テーマ展	「古墳時代から中世の考古資料」	

【講演会等】

P:パネリスト

C:コーディネーター

年度	名 称	講 演 ・ テ ー マ 等 ・ 講 師
H26	企画展記念講演会	「日本列島の弥生文化と南東北」 石川日出志(明治大学教授)
	第16期 考古学セミナー	「弥生時代の山形を考える」 4回講座
		①「山形県の弥生時代研究の歩み」 渋谷孝雄(当館館長) 「日本の弥生時代概論と生産遺跡」 秦 昭繁(当館職員) ②「仙台平野の弥生時代」 太田昭夫(名取市教育委員会) 「山形県の弥生土器の変遷」 佐藤祐輔(仙台市富沢遺跡保存館) ③「弥生時代の住居・墓・集落」 押切智紀(山形県立博物館) 「新潟県北部の弥生時代」 滝沢規朗(新潟県教育庁) ④「会津盆地の弥生時代」 田中 敏(福島県立博物館) 「弥生時代の山形を考える」 佐藤庄一(山形考古学会副会長)

H26	第IX期 うきたむ学講座	①「陸奥国の官衙を赤井遺跡・矢本横穴墓群からみる」佐藤敏幸(東松島市教育委員会) 「花粉からみた縄文時代の人為生態系と植物資源利用」吉川昌伸(古代の森研究舎) ②「米沢盆地の横穴式古墳成立過程を考える」佐藤智幸(米沢市教育委員会) 「近代の教育活動としての育英事業」布施賢治(米沢女子短期大学) ③「米沢盆地の石材流通の概要」秦 昭繁(当館職員) 「関東地方の資源開発とその利用」栗島義明(埼玉県立歴史と民俗の博物館) 「秋田地域の石器・石材流通の実態」吉川耕太郎(秋田県立博物館) 「石器・アスファルトなどの分布から流通と集団関係を考える」岡村道雄(元文化庁)
	考古資料検討会	基調報告「2014 年県内の発掘調査の概要」 竹田純子(県文化財保護・生涯学習課) 報告遺跡①八幡一遺跡(埋蔵文化財センター) ②戸塚山古墳群M201 号墳(米沢市教育委員会) ③米沢館山城跡(米沢市教育委員会) ④日向洞窟西地区遺跡(東北芸術工科大学)
27	企画展記念講演会	「水木田遺跡にみる縄文中期前半の世界」 阿部明彦(埋蔵文化財センター)
	第17期 考古学セミナー	「縄文時代中期前葉から中葉の遺跡と遺物」 3 回講座 ①「山形県の縄文時代中期前葉から中葉の遺跡の概要」渋谷孝雄(当館館長) 「置賜地域の縄文時代中期前葉から中葉の遺跡-台ノ上遺跡-」菊地政信(考古学協会) ②「村山地域の縄文時代中期前葉から中葉の遺跡-西海淵遺跡-」菅原哲文(埋蔵文化財センター) 「最上地域の縄文時代中期前葉から中葉の遺跡-西ノ前遺跡-」黒坂雅人(埋蔵文化財センター) ③「庄内地域の縄文時代中期前葉から中葉の遺跡-西向遺跡-」須賀井新人(埋蔵文化財センター) 「山形県の縄文時代中期前葉から中葉の石器」秦 昭繁(考古学研究家)
	第X期 うきたむ学講座	①「押出遺跡の調査成果について」水戸部秀樹(埋蔵文化財センター) 「押出遺跡における植物遺体」佐々木由香(パレオ・ラボ) 「福井県鳥浜貝塚について」小島秀彰(福井県若狭三方縄文博物館) 「富山県小竹貝塚について」町田賢一(富山県文化振興財団) 「押出遺跡における縄文前期遺跡との接触・交流」小林圭一(埋蔵文化財センター) ②「大谷地の地質と地形」阿子島 功(山形大学名誉教授) 「大谷地周辺に立地する縄文時代草創期の遺跡」長井謙治(東北芸術工科大学講師) ③「大谷地の生物(植物)」吉野智雄(前うきたむ風土記の丘考古資料館運営協議会会長) 「大谷地の歴史と生活」佐藤庄一(山形考古学会会長)
	考古資料検討会	基調報告「2015 年県内の発掘調査の概要」 稲村圭一(県文化財保護・生涯学習課) 報告遺跡①酒町遺跡(長井市教育委員会) ②清水上遺跡(南陽市教育委員会) ③米沢館山城跡(米沢市教育委員会) ④押出遺跡(埋蔵文化財センター) ⑤日向洞窟西地区遺跡(東北芸術工科大学)
28	企画展記念講演会	「縄文人がつくったふるさとの森」 鈴木三男(東北大学名誉教授)
	第18期 考古学セミナー	「縄文時代の植物利用」 3 回講座 ①「山形県内の縄文時代植物利用の概要」渋谷孝雄(当館館長) 「押出遺跡の植物利用」水戸部秀樹(埋蔵文化財センター) ②「小山崎遺跡の植物利用」大川貴弘(遊佐町役場) 「高瀬山遺跡の水場遺構と植物利用」小林圭一(埋蔵文化財センター) ③「縄文時代の植生史と植物利用」吉川昌伸(古代の森研究舎) 「出土遺体にみる縄文時代の植物利用」吉川純子(古代の森研究舎)
	第XI期 うきたむ学講座	(特別講座) 「野仏に秘められたものPⅡ」平吹利数(白鷹町文化財保護審議会会長) 「塩田行屋の仏像とその由来」宮本晶朗(文化財マネージメント) ①「伊達氏のふるさと梁川城」今野賀章(伊達市教育委員会) 「伊達時代の米沢一館山城跡を中心に」宮田直樹(米沢市教育委員会) ②「置賜の窯跡」高橋 拓(飯豊町教育委員会) 「江戸前期の地方窯業」渡辺芳郎(鹿児島大学) ③「置賜の民俗」阿部宇洋(農村文化研究所) 「川西町の石造物」伊藤義隆(川西町文化財保護協会)
	山形の 発掘調査検討会	基調報告「2016 年県内の発掘調査の概要」 竹田純子(県文化財・生涯学習課) 報告遺跡①壇山古窯群(埋蔵文化財センター) ②八幡西遺跡(埋蔵文化財センター) ③馳上遺跡 8 次(埋蔵文化財センター) ④大南遺跡(米沢市教育委員会) ⑤日向洞窟西地区遺跡(東北芸術工科大学) ⑥日向洞窟遺跡範囲確認調査(高島町教育委員会)
29	企画展記念講演会	「実験で検証する弥生・古墳時代の木製品」 山田昌久(首都大学東京教授)
	第19期 考古学セミナー	「弥生・古墳時代の木製品」 3 回講座 ①「展示資料解説」伊藤純子(当館職員)

29		「弥生・古墳時代の木製品の概要」 渋谷孝雄(当館館長) ②「仙台平野の弥生時代木製品が出土した遺跡」 荒井 格(仙台市教育委員会) 「仙台平野の弥生時代の木製品」 同上 ③「服部・藤治屋敷遺跡の調査と古墳時代木製品」 高桑弘美(埋蔵文化財センター) 「板橋2遺跡の調査と古墳時代木製品」 齋藤 健(埋蔵文化財センター)
	第 XII 期 うきたむ学講座	(特別講座) 「置賜の前期古墳研究の課題ー長岡地区古墳群の成立と展開をめぐってー」 佐藤鎮雄(前山形県立うきたむ風土記の丘考古資料館長) 「南陽市長岡南森調査研究報告ー南森古墳推定遺跡測量調査を終えてー」 角田朋行(南陽市教育委員会) ①「置賜で活躍した仏師たちー白鷹町の調査事例からー」 石井紀子(白鷹町地域おこし協力隊) 「置賜の仏像と醍醐寺の関係ー高島町・大聖寺を中心にー」 石井智也(東北古典彫刻修復研究所) ②「地域の歴史をつくるー『清水町の歴史とくらし』の刊行からー」 佐藤庄一 ③「米沢産物集と動物たち」 鳥海隼夫 「近世後期の米沢の文学」 石黒志保(市立米沢図書館)
	山形の 発掘調査検討会	基調報告「2017 年県内の発掘調査の概要」 稲村圭一(県文化財保護・生涯学習課) 報告遺跡①八幡西遺跡(埋蔵文化財センター) ②花沢 a 遺跡(米沢市教育委員会) ③大南遺跡(米沢市教育委員会) ④裏山 I 遺跡(飯豊町教育委員会) ⑤日向洞窟遺跡(東北芸術工科大学)
30	特別テーマ展 関連講座	①「押出遺跡 6 次調査の成果」 水戸部秀樹(埋蔵文化財センター) 「川内袋遺跡の調査成果」 齊藤主税(埋蔵文化財センター) ②「高瀬山遺跡の調査成果」 齊藤主税(埋蔵文化財センター) 「山形県内の縄文時代前期後半の土器様相」 小林圭一(埋蔵文化財センター) ③「山形県内の縄文時代前期後半の石器作成と組成」 秦 昭繁(考古学研究家) 「山形県内の縄文時代前期後半の集落と暮らし」 菅原哲文(埋蔵文化財センター)
	企画展記念講演会	「出土文字資料と古代出羽国」 十川陽一(山形大学人文社会科学部准教授)
	第20期 考古学セミナー	「古代から近世の木簡と木製品」 3回講座 ①「古代の木製品ー建築部材・祈り・文字ー」 佐藤庄一(山形考古学会会長) 「大在家遺跡の木製品と文字資料」 井田秀和(元高島町教育委員会) ②「上高田遺跡の木製品と文字資料」 齋藤 健(埋蔵文化財センター) 「中近世の木製品と文字資料」 高桑 登(埋蔵文化財センター) ③「馳上遺跡の木製品と文字資料」 渡辺和行(埋蔵文化財センター) 「古志田東遺跡の木製品と文字資料」 手塚 孝(米沢市教育委員会)
	第 XIII 期 うきたむ学講座	(特別講座)「高島町の石造文化を探るー中世から近現代までー」 加藤和徳(日本民俗学会会員・日本石仏協会理事) 「下張りをはがす」 小林貴宏(高島町教育委員会) ①「米沢藩の軍制改革ー西洋砲術導入をめぐる諸問題についてー」 布施賢治(米沢女子短期大学) 「東北から見た戊辰戦争」 渡部幸雄 ②「高島町周辺の鉱山と鉱物」 五十公野裕也(山形大学理学部) ③「やまがたの無形文化財 深山和紙ー守り伝えるための地域づくりー」 高橋信博(地域づくりプランナー) ④「白鷹紬ー生業(なりわい)についてー」 守谷英一(東北芸術工科大学)
	考古資料検討会	基調報告「2018 年県内の発掘調査の概要」 岩崎恒平(県文化財・生涯学習課) 報告遺跡①大南遺跡(米沢市教育委員会) ②南森遺跡(南陽市教育委員会) ③上屋地 B 遺跡(飯豊町教育委員会) ④日向洞窟遺跡範囲確認調査(高島町教育委員会) ⑤日向洞窟遺跡とその周辺(日向洞窟遺跡調査団)
R1	特別テーマ展 関連講座	①「高島町の縄文時代中期後葉・末葉の遺跡」 井田秀和(高島町教育委員会) 「米沢市内の縄文時代中期後半の遺跡」 手塚 孝(日本考古学協会) ②「長井市の縄文時代中期後葉の遺跡」 岩崎義信(長井市教育委員会) 「小国町の縄文時代中期後半の遺跡」 阿部明彦(山形考古学会副会長) ③「花沢A遺跡第3次発掘調査について」 佐藤智幸(米沢市教育委員会) 「山形県内の縄文時代中期後半の炉と土器の変遷」 菅原哲文(埋蔵文化財センター)
	企画展記念講演会	「山形の縄文時代後期について」 小林圭一(埋蔵文化財センター)

R1	第21期 考古学セミナー	「縄文時代後期の山形」 3回講座 ①「置賜の縄文時代後期の遺跡」手塚 孝（日本考古学協会） 「村山の縄文時代後期の遺跡」植松暁彦（埋蔵文化財センター） ②「最上の縄文時代後期の遺跡」水戸部秀樹（埋蔵文化財センター） 「庄内の縄文時代後期の遺跡」渋谷孝雄（当館館長） ③「縄文時代後期の住居と集落」菅原哲文（埋蔵文化財センター） 「縄文時代後期の墓—秋田を中心に—」小林 克（三内丸山遺跡発掘調査委員会委員長）
	第 XIV 期 うきたむ学講座	（特別講座）シンポジウム「溝で囲まれた遺跡にせまる～大南遺跡～」C:吉田 欽 ・「大南遺跡発掘調査の成果」佐藤 公保（米沢市教育委員会） ・「大南遺跡の年代測定結果」門叶 冬樹（山形大学） ・「大南遺跡出土の陶磁器」山口 博之（米沢女子短期大学） ・「大南遺跡出土の神像」山下 立（滋賀県立安土城考古博物館） ①「伊佐早謙が残した林泉文庫について」新宮 学（山形大学人文社会科学部） 「戦国末期から近世前期の土豪と村落」渡部眞治（徳太郎文庫） ②「鉾山と鉾床の形成過程～蔵王山の下に金が眠る！？」中島和夫（山形大学名誉教授） ③「長井市の仏像・神像について」長坂一郎（東北芸術工科大学） 「長井市史編纂事業について」岩崎義信（長井市教育委員会）
	特別講演会	「旧石器時代の丸木舟製作と航海の記録」山田昌久（首都大学東京特任教授）
	考古資料検討会	基調報告「2019 年県内の発掘調査の概要」岩崎恒平（県文化財・生涯学習課） 報告遺跡 ①桐ノ木遺跡（米沢市教育委員会） ②南森遺跡（南陽市教育委員会） ③日向洞窟遺跡範囲確認調査（高畠町教育委員会）
2	企画展記念講演会	「山形県の縄文時代中期前半の文化動態」菅原哲文（多賀城市教育委員会）
	館長講座	「小山崎遺跡を知ろう」3回講座
	第22期 考古学セミナー	「水木田遺跡と縄文時代中期前半の山形」3回講座 ①「重要文化財 水木田遺跡出土品について」阿部 明彦（山形考古学会副会長） 「庄内地域の縄文時代中期前半について」須賀井新人（埋蔵文化財センター） ②「最上地域の縄文時代中期前半について」水戸部秀樹（埋蔵文化財センター） 「村山地域の縄文時代中期前半について」渋谷 孝 雄（当館館長） ③「東置賜地域の縄文時代中期前半について」菊 地 政 信（日本考古学協会会員） 「西置賜地域の縄文時代中期前半について」岩 崎 義 信（長井市教育委員会）
3	企画展記念講演会	「近世城郭と石垣」北野博司（東北芸術工科大学教授）
	館長講座	「小国町の考古学」2回講座
	第23期 考古学セミナー	「発掘調査でわかった山形県内の近世城郭と出土遺物」3回講座 ①「米沢城の発掘調査と出土遺物」菊 地 政 信（米沢市教育委員会） 「舘山城の発掘調査と出土遺物」佐藤 公保（米沢市教育委員会） ②「山形城の発掘調査と出土遺物」齋 藤 仁（山形市） ③「鶴ヶ岡城の発掘調査と出土遺物」菅原 哲文（埋蔵文化財センター） 「亀ヶ崎城の発掘調査と出土遺物」高 桑 登（千葉県教育振興財団）
4	企画展記念講演会	「最上地域の縄文時代」阿部明彦（山形考古学会会長）
	館長講座	「高瀬山の考古学Ⅰ」3回講座
	第24期 考古学セミナー	「最上地域の縄文時代」3回講座 ①「最上地域の縄文時代早期・前期の遺構と遺物」渋谷 孝 雄（当館館長） 「最上地域の縄文時代中期前葉から中葉の遺構と遺物」菅 原 哲 文（埋蔵文化財センター） ②「最上地域の縄文時代中期後葉の遺物と遺構」水戸部秀樹（埋蔵文化財センター） 「最上地域の縄文時代後期の遺物と遺構」水戸部秀樹（埋蔵文化財センター） ③「最上地域の縄文時代晩期の遺物と遺構」小 林 圭 一（埋蔵文化財センター） 「縄文時代の緑色石英製玉とその分布」三 澤 裕 之（秀明大学教授）
	考古資料検討会	基調報告「2022 年県内の発掘調査の概要」竹 田 純 子（県文化振興・文化財活用課） 報告遺跡 ①台ノ上遺跡 佐藤 公保（米沢市教育委員会） ②南森遺跡 斉 藤 紘 輝（南陽市教育委員会） ③大在家遺跡 水 口 哲（高畠町教育委員会） 研究報告「層序学・堆積学による前期旧石器出土の遺跡認識—飯豊町上屋地B遺跡を主に—」 秦 昭 繁（山形考古学会）
5	企画展記念講演会	「山形県の指定文化財—考古資料—について」高桑弘美（山形県文化財保護審議会委員）
	特別テーマ展	「高瀬山の考古学Ⅱ」2回講座

5	関連講座	①「弥生時代から古墳時代の高瀬山遺跡」植松 暁彦(埋蔵文化財センター) ②「古代から中世の高瀬山遺跡」渡辺 和行(埋蔵文化財センター)
	第25期 考古学セミナー	「山形県の指定文化財と出土遺跡」 3回講座 ①「旧石器時代・縄文時代草創期の指定文化財と関連遺跡」 渋谷 孝 雄(当館館長) 「縄文時代の指定文化財と関連遺跡」 小林 圭 一(埋蔵文化財センター) ②「弥生時代の指定文化財と関連遺跡」 菅 原 哲 文(埋蔵文化財センター) 「古墳時代の指定文化財と関連遺跡」 草 野 潤 平(埋蔵文化財センター) ③「奈良・平安時代の指定文化財と関連遺跡」 植 松 暁 彦(埋蔵文化財センター) 「鎌倉・室町時代の指定文化財と関連遺跡」 高 桑 登(埋蔵文化財センター)
	考古資料検討会	基調報告「2023 年度県内発掘調査の概要」 稲村 圭 一(県博物館・文化財活用課) 報告遺跡 ①館山城跡 佐藤 公保(米沢市教育委員会) ②南森遺跡 斉藤 紘輝(南陽市教育委員会) ③大在家遺跡 水 口 哲(高畠町教育委員会) ④中洗2遺跡 齋 藤 健(埋蔵文化財センター) ⑤材木遺跡 三澤 裕 之(山形考古学会)
	第 XV 期 うきたむ学講座	①「南陽市のぶどう栽培のあゆみ」 佐藤 庄 一(山形考古学会顧問) 竹田 耕 平(福島大学農学部非常勤講師) 「南陽市のぶどう栽培の将来」 結城 秀 人(柗結城酒店代表取締役社長) ②「最上川舟運と長井一絵図と水帳の視点から」 岩崎 義 信(長井市史編纂専門員) 「米沢藩の番所制度と旅人一近世が 260 年続いた要因の一端を探る」 原 淳 一 郎(米沢女子短期大学教授)
6	企画展記念講演会	「やまがたの遺跡の中のカミ・ホトケ」 三上喜孝(国立歴史民俗博物館教授)
	館長講座	「遊佐町の考古学 I」 全2回講座
	第26期 考古学セミナー	「やまがたの遺跡の中のカミ・ホトケ」 3回講座 ① 「庄内平野の遺跡からみるカミ・ホトケ」 佐藤 庄 一(山形考古学会顧問) 「古代最上・置賜郡の寺に関するあれこれ」 渡辺和行(埋蔵文化財センター) ② 「遺跡の中のカミ・ホトケ 一八幡一遺跡の出土事例から」 水戸部秀樹(埋蔵文化財センター) 「遺跡の中のカミ・ホトケ 一中近世の遺跡を中心に」 高桑登(埋蔵文化財センター) ③ 「『カミ・ホトケ』の信仰と経塚 一山形県内の経塚を中心に」 岩崎義信(長井市史編纂専門員) 「遺跡の中のカミ・ホトケ 一米沢市の調査事例を中心に」 佐藤公保(米沢市教育委員会)
	考古資料検討会	基調報告「2024 年度県内発掘調査の概要」(県博物館・文化財活用室) 報告遺跡 ①館山城跡 佐藤 公保(米沢市教育委員会) ②南森遺跡 角田朋行(南陽市教育委員会) ③西田遺跡 水戸部秀樹(埋蔵文化財センター)
	第 XVI 期 うきたむ学講座	① 「天蚕繭の生産という生業」 守谷英一(置賜民俗学会会長) 「小国マタギの現状と課題」 草刈 広一(NPO 法人 飯豊朝日を愛する会理事長) ② 「置賜の魚類一魚類相の成り立ちの歴史とヒトとの関わり」 半澤直人(山形大学名誉教授) 「置賜の歴史的救荒植物・かてものについての一考察」 島津憲一(高畠町文化財保護会会長)

(敬称略)

【体験教室】

- ・縄文土器づくり (平成 5～23 年度)
- ・古代食作り (平成 6～17 年度)
- ・弓矢づくり (平成 7・13 年度～)
- ・縄文土偶づくり (平成 9 年度)
- ・縄文釣り針づくり (平成 10 年度)
- ・赤ちゃん手形づくり (平成 13 年度～)
- ・ガラス玉づくり (平成 16 年度～)
- ・古代の編布づくり (平成 8～22 年度・平成 28 年度～)
- ・スクールオブジョウモン (平成 28 年度～)
- ・勾玉づくり (平成 6・10 年度～)
- ・縄文住居づくり (平成 7 年度)
- ・夏休み親子遺跡探検 (平成 8～9 年度)
- ・少年少女考古学教室 (平成 9 年度)
- ・縄文祭り具づくり (平成 10 年度)
- ・柿渋染めづくり (平成 16 年度)
- ・古代風ブレスレットづくり (平成 26 年度～)
- ・大人の自由研究 (平成 29 年～)

〔当館事業で行っている体験メニュー一覧〕 ※令和 6 年現在

名 称	内 容	所要時間	人数(最大)	参加費
勾玉づくり	滑石というやわらかい石でつくります	60～90 分	20 名	200 円
弓矢づくり	竹を利用してつくります	60～90 分	10 名	200 円
石器づくり	頁岩という石を利用して石器をつくります	30～60 分	10 名	200 円
古代風ブレスレットづくり	麻紐を編んでオリジナルのブレスレットをつくります	30～60 分	20 名	200 円
コースターをつくろう	縄文時代から続くアンギン台を使う方法やミニ機織り機を使う方法でコースターを作ります	60～90 分	20 名	200 円
ガラス玉をつくろう	古墳時代のガラス玉の加工方法の一つ「巻きつけ技法」の体験をします。	90 分	20 名	1,000 円

〔団体向け体験メニュー一覧〕 ※令和 6 年現在

名 称	内 容	所要時間	人数(最大)	参加費(減免後)
火おこし	「ひもぎり式」という、摩擦を利用した古代以来の方法で火をおこします	10～30 分	30 名	無料
勾玉づくり	滑石というやわらかい石でつくります	60～90 分	100 名	100 円 150 円(簡易版)
弓矢射ち	的に向かって弓矢を射つ体験をします。	10～30 分	30 名	無料
古代風ブレスレットづくり	麻紐を編んでオリジナルのブレスレットをつくります	30～60 分	30 名	100 円
コースターをつくろう	縄文時代から続くアンギン台を使う方法やミニ機織り機を使う方法でコースターを作ります	60～90 分	10 名	100 円
ジュズダマでストラップをつくろう	縄文時代から栽培されてきた、ジュズダマという植物の種子を使ってオリジナルストラップを作ります	30 分	20 名	50 円

※その他、個人又はグループで各種体験を行うこともできます。(お電話による事前予約が必要です)

【うきたむ縄文まつり】

・縄文月見の宴（平成 5～9 年度）

・縄文まつり（平成 10～19・23～24 年度）

【遺跡めぐり・遺跡の旅】

・春・秋の遺跡めぐり（平成 8 年度～）

・みる・きく・ふれる遺跡の旅（平成 10 年度～）

3. 展 示 の 概 要

(1) 常設展示

置賜地方を中心に県内各遺跡の出土資料を展示し、旧石器時代から古墳時代までを通史的に理解することができるような構成としている。

ロビー展示では、「置賜のあけぼの」をテーマとし、小国町の岩井沢遺跡や湯の花遺跡などから出土した旧石器時代の資料を展示している。また、槍の復元品により、使用例を示している。

常設展示室では、「大谷地をかこむ遺跡」「縄文時代のタイムカプセル」「古墳を造る人々」をテーマとしている。

「大谷地をかこむ遺跡」では、高畠町の日向洞窟（国指定史跡）から出土した縄文時代草創期の微隆起線文土器をはじめ、縄文草創期から前期の資料を展示している。

「縄文時代のタイムカプセル」では、高畠町の押出遺跡の資料を展示している。展示品には、重要文化財に指定されているものが大半で、縄文土器や各種の石器の他、彩漆土器（レプリカ）やクッキー状炭化物などがある。湿地帯に位置する遺跡で、植物由来の遺物が良好な状態で発見されており、木製品なども展示している。

「古墳を造る人々」では、弥生時代から古墳時代の展示を行っている。弥生時代の萩生田遺跡（南陽市）から出土した石包丁や古墳時代の甕、埴、甗、坏などの土器、お花山古墳（山形市）から出土した鏡・勾玉・ガラス玉などを展示している。

企画展示室では、企画展示以外の期間は、「古墳時代から中世の考古資料」として、常設展示に続く通史的な内容の展示を行っている。「古墳時代の暮らし」「各地にひろがる須恵器生産」「中世の人びとと信仰」をテーマとし、古代の役所などで使用されていたと考えられる瓦や山形県の指定文化財である円面硯、中世の信仰に関わる一字一石経・板碑などを紹介している。



(2) 企画展示

①特別テーマ展「遊佐町の考古学Ⅰ－旧石器時代から縄文時代－」 6月15(土)～9月8日(日)

遊佐町は県内で最も早く科学的な発掘調査が行われた町で、その後も旧石器時代から中世まで多くの遺跡の発掘調査が行われてきた。

今年度はその1回目として旧石器時代と縄文時代の出土品を展示した。

第1章「遊佐町の旧石器時代」では山形県の後期旧石器時代では最も古い前半期の水林下遺跡、同じく前半期の懐ノ内F遺跡の出土資料と吹浦遺跡から出土した台形石器、後半期の金俣遺跡で採集したナイフ形石器、細石刃石器群である宮山坂Fと懐ノ内F遺跡から採集された細石刃計46点を展示した。

第2章「遊佐町の縄文時代早期・前期の土器」では早期の小山崎遺跡の野島、鵜ヶ島台、素山上層式土器片を、金俣B遺跡の早期末葉(素山上層式)の土器片、前期初頭から後葉では小山崎遺跡の低地東部から出土した上川名2式から大木5式までの土器と土器片を合わせて29点展示した。

西壁展示ケースの中央部から北半部には吹浦遺跡で出土した前期末葉の大木6式1・2期、3期、4・5期の土器と土器片を合わせて22点展示した。

第3章「遊佐町の縄文時代中期の土器」では、展示室北壁西端に小山崎遺跡の第4次調査一区で出土した中期前葉の北陸系の土器片を展示し、次に、杉沢C遺跡から出土した中期前葉大木7b式の深鉢を、北壁中央部には柴燈林遺跡から出土した中期中葉の深鉢や浅鉢、それに北限の火焰土器などを展示した。北壁の中央から東部には竜沢山遺跡から出土した同じく中期中葉の鉢や深鉢を合わせて19点展示した。

北壁の東部には小山崎遺跡の低地西部から出土した中期後葉の大木9式の深鉢破片と台地斜面部の住居跡から出土した大木10式の深鉢や注口土器、珍しい橋状把手のついた土器など5点を展示した。

第4章「遊佐町の縄文時代後期の土器」では展示室北東隅に後期前葉の小山崎遺跡西部捨て場等から出土した深鉢、浅鉢、鉢、壺など10点を展示した。東壁の北部には三崎山A遺跡と小山崎遺跡低地西部から出土した後期中葉の土器を8点展示した。東壁中央部から北寄りには小山崎遺跡台地斜面部と低地西部、それに神矢田遺跡から出土した後期後葉の深鉢と出土した壺や注口土器、香炉形土器など11点を展示した。

第5章「遊佐町の縄文時代晩期の土器」では東壁の中央から南部に小山崎遺跡および神矢田遺跡から出土した晩期前葉から末葉の鉢、台付鉢、壺、注口土器、高坏など26点の土器を展示した。

第6章「縄文時代の石器の変遷」では平台1ケースに前期中葉の小山崎遺跡低地東部から出土した石器と前期末葉の吹浦遺跡の石器を合計146点展示した。平台2の左半には中期中葉の柴燈林遺跡と牛渡1遺跡の石器と後期の小山崎遺跡の低地西部の石器合計76点を展示した。

第7章「縄文時代の狩猟・漁撈・採集と動植物遺体」では平台2の右半部と平台3の左半部に小山崎遺跡から出土した石器以外の土製品・石製品、木製品や骨角器、それに、食料となった動植物遺体を合計45点展示した。

第8章「縄文時代の祈り・装飾、物流・交流」では平台3の右半部と平台4に吹浦遺跡、小山崎遺跡、神矢田遺跡から出土した土偶、石棒・石刀・石剣、異形石器、土製・石製の耳飾り、土製品、骨角製の装身具、漆関連製品や漆容器、アスファルト付着石器、ヒスイ、ネフライト製品とココヤシ、青銅刀のレプリカ等156点を展示した。

会期中には館長講座を2回開催し、遊佐町の旧石器時代と縄文時代の遺跡と出土品について理解・関心を深める解説を行った。

また、81 頁の展示図録を刊行した。

②第 32 回企画展「山形県の遺跡の中のカミ・ホトケ」 9 月 14 日（土）～12 月 1 日（日）

これまでに県内で調査された遺跡から、祭祀に関連する遺構・遺物の展示を行い、山形県における古代から近世までの、人々とカミ・ホトケとの関りについて考えることをテーマとした。展示構成は以下のとおりである。

第 1 章は「祈りの形」とし、仏像・神像や形代などの祭祀遺物を展示した。第一節では、三条遺跡、今塚遺跡、山海窯跡、宮ノ下遺跡、上野遺跡、大南遺跡、山形城三の丸遺跡、荒川 2 遺跡、矢馳 A 遺跡などから出土した神仏を描いたと考えられる墨書土器や木簡、神像、仏像を展示した。

第二節では俵田遺跡、今塚遺跡、生石 2 遺跡、蟬田遺跡、馳上遺跡、手蔵田遺跡、八幡一遺跡、大楯遺跡、亀ヶ崎遺跡、鶴ヶ岡城などから出土した人形、舟形、武器形などの形代を展示し、第三節では、北目長田遺跡、大楯遺跡、上高田遺跡、山形城三の丸遺跡などから出土した、仏具等を展示した。

第 2 章は「書き残された祈り」とし、祭祀に関連する木簡や墨書土器などを展示した。第一節では今塚遺跡、太夫小屋遺跡、馳上遺跡、生石 2 遺跡、横山 C 遺跡、宮ノ下遺跡、三条遺跡、蟬田遺跡、道伝遺跡から出土した祭祀に関連する墨書土器、刻書土器を展示した。第二節では、服部遺跡、後田遺跡、馳上遺跡、藤島城跡、小田島城跡、山形城三の丸遺跡などから出土した祭祀に関連する木簡や笹塔婆を展示した。

第 3 章は「祈りの場」として、寺院跡や仏堂跡と考えられる遺跡、遺構を紹介し、その出土品を展示した。展示したものは高松Ⅱ・Ⅲ遺跡、太夫小屋遺跡、八幡一遺跡、上の寺遺跡、覚範寺遺跡、米沢城跡などからの出土品である。

第 4 章は「祈りの風景」として、祭祀遺構や埋葬遺構、経塚などを紹介し、その出土品を展示した。第一節では、関 B 遺跡、岩崎遺跡、新青渡遺跡、南興野遺跡等で見られる井戸祭祀に関わる遺物を、第二節では下長橋遺跡、東田遺跡、浮橋遺跡などで見られる地鎮祭祀に関わる遺物を展示した。第三節では行司免遺跡、柳沢 A 遺跡、渋江遺跡、八幡西遺跡から出土した葬送儀礼に関わる遺物を展示した。第四節では笠松山経塚、称名寺裏経塚、金俣経塚、滝経塚、元和田経塚、郡之神遺跡、高野坊遺跡、三沢経塚から出土した経筒や一字一石経石などを展示した。

企画展開催中考古学セミナーを 3 回開催し、6 名の講師陣による講義を頂いた。講義を録画した動画を作成し、ホームページ上で公開した。また、3 月 9 日には来館者の理解・関心の向上を目的とし、企画展講演会を開催した。会期中に 90 頁の展示図録を刊行した。

◇ 第 26 期考古学セミナー「遺跡の中のカミ・ホトケ」

9 月 22 日（日）・9 月 29 日（日）・10 月 6 日（日）

◇ 記念講演会「遺跡の中のカミ・ホトケ」

3 月 9 日（日） 講師：三上 喜孝氏（国立歴史民族博物館教授）

③kid's 考古学新聞コンクール全国巡回展

令和6年6月1日（土）～9 月 20 日（金）

2023 年度「第 4 回 kid's 考古学新聞」の入賞作品の巡回展。昨年に引き続き開催した。県内からの入賞は今年もなかったが、全国各地の小学生の作品等 27 点のパネルを展示した。期間中の入館者は 1,592 人。

④東南アジアの洞窟遺跡－洞窟から探る人類史－巡回パネル展(福井洞窟ミュージアム・東南アジア考古学会) 令和6年12月19日(木)～令和7年3月31日(月)

コンモーン洞窟、ハンチョー洞窟などの調査成果を30枚のパネルで紹介した。

⑤山形県指定有形文化財「生石2遺跡出土弥生土器」資料公開(主催:山形県県民文化芸術振興課博物館・文化財保存活用室) 令和7年1月18日(土)～令和7年3月16日(日)

山形県内において、それまで弥生時代前期の土器がセットとして多量に出土した例は極めて少なく、生石2遺跡の調査成果は、弥生時代の研究に新たな進展をもたらした。しかも、東北の弥生時代の開始時に西日本の弥生文化が直接的に波及しており、その動向を具体的に立証できる資料であったことから、平成23年12月27日に、「生石2遺跡出土弥生土器」として、鉢形土器27点、高坏形土器4点、甕A形土器18点、甕B形土器14点、壺形土器10点、蓋形土器5点の合計78点が県指定有形文化財に指定された。

生石2遺跡出土弥生土器は、現在、(公財)山形県埋蔵文化財センターと一部を山形県立博物館で保管しており、これまでも山形県立うきたむ風土記の丘考古資料館の企画展等において展示を行ってきた。

展示の様子

特別テーマ展「遊佐町の考古学Ⅰ」の展示の様子



第32回企画展「やまがたの遺跡の中のカミ・ホトケ」の展示の様子



4. 教 育 普 及 活 動

(1) 講演会・ギャラリートーク

①企画展記念講演会

3月9日(日) 受講者 21名 ※講師都合により、ZOOMによるオンライン開催
演題「遺跡の中のカミ・ホトケ」 国立歴史民俗博物館教授 三上 喜孝 氏

②ギャラリートーク

今年度は実施しなかった。

(2) 体験事業

① 赤ちゃんの手形をつくろう

4月27日(土)～4月29日(月)、5月3日(金)～5月6日(月)
手形・足形個数 564個 2212人参加
縄文時代の遺跡から出土した子どもの手形付き土製品にちなんだ
催しである。今年度は平日を挟み計7日間行った。

② 勾玉・弓矢・石器をつくろう

5月25日(土)・7月6日(土)・11月3日(日・祝) 参加者 計86名
勾玉は滑石、弓矢は竹を加工して作る体験を行った。
石器作りは、頁岩という石を使って加工した。

③ ガラス玉をつくろう

6月8日(土)・11月16日(土) 参加者 計8組
ガラスの加工方法のひとつ「巻き付け技法」でのガラス玉作りを行った。

④ コースターをつくろう

6月15日(土)・11月30日(土) 参加者 計5名
ミニ機織り機を使う方法で、カラムシ(青苧)からとった繊維を使ってコースターを作成した。

⑤ 古代風ブレスレットをつくろう

6月15日(土)・11月30日(土) 参加者 計7名
古代から人々の生活で使われてきた「麻」の紐を編んでブレスレットを作成した。

⑥ 大人の自由研究1「カラムシから繊維を取ろう」

7月13日(土) 参加者 計3名
縄文時代から衣服等の繊維に使われてきた、カラムシから実際に繊維を取る体験を行った。

⑦ 大人の自由研究2「鮭の塩引きをつくろう」

11月24日(日)・12月1日(日)・12月8日(日) 参加者 計16組
縄文時代から食されたとされる鮭を使った塩引きを調理。

(3) 研修事業

〈講座研修〉

① 館長講座「遊佐町の考古学Ⅰ」 受講者 延べ 16 名

【第1回】 7月7日(日) 受講者 9名

【第2回】 7月14日(日) 受講者 7名

② 第26期考古学セミナー『遺跡の中のカミ・ホトケ』 受講者 延べ 64 名

【第1回】 9月22日(日) 受講者 24名

「庄内平野の遺跡からみるカミ・ホトケ」

山形考古学会顧問 佐藤 庄一 氏

「古代最上・置賜郡の寺に関するあれこれ」

(公財) 山形県埋蔵文化財センター 渡辺 和行 氏

【第2回】 9月29日(日) 受講者 24名

「遺跡の中のカミ・ホトケ ―八幡一遺跡の出土事例から―」

(公財) 山形県埋蔵文化財センター 水戸部 秀樹 氏

「遺跡の中のカミ・ホトケ ―中近世の遺跡を中心に―」

(公財) 山形県埋蔵文化財センター 高桑 登 氏

【第3回】 10月6日(日) 受講者 16名

「『カミ・ホトケ』の信仰と経塚 ―山形県内の経塚を中心に―」

長井市史編纂専門員 岩崎 義信 氏

「遺跡の中のカミ・ホトケ ―米沢市の調査事例を中心に―」

米沢市教育委員会 佐藤 公保 氏

〈野外研修〉

① 春の遺跡めぐり

5月19日(日) 参加者 23名

山形県酒田市

(城輪柵跡→堂の前遺跡→八森遺跡→生石2遺跡→松山文化伝承館・松山城大手門→酒田市文化資料館→山居倉庫・庄内米歴史資料館)

② みる・きく・ふれる遺跡の旅

6月22日(土)～6月23日(日) 参加者 14名

「群馬県北部をめぐる旅」 案内：芹沢 清八氏

(〈1日目〉岩宿博物館・史跡岩宿遺跡→昼食→赤堀歴史民俗資料館→史跡大室古墳群→かみつけの里博物館(保渡田古墳群含む)→史跡黒井峯遺跡→伊香保温泉伊香保グランドホテル

〈2日目〉史跡茅野遺跡→榛東村耳飾り館→前橋市総社歴史資料館(史跡総社古墳群→総社二子山・総社愛宕山・宝塔山・蛇穴山・遠見山古墳含む)→昼食→山王廃寺→史跡上野国分僧寺跡→史跡前橋二子山古墳→史跡八幡山古墳)

③ 秋の遺跡めぐり

10月20日(日) 参加者 25名

宮城県多賀城市・七ヶ浜市 案内：多賀城市観光協会

(多賀城廃寺→東北歴史博物館→多賀城跡・多賀城碑→多賀城市埋蔵文化財調査センター→大木囲貝塚・歴史資料館)

(4) 共催事業

① 考古資料検討会 共催：山形考古学会

令和7年2月16日(土) 10:30~15:30 参加者 37名

〈研究発表〉

基調報告「2024年県内の発掘調査の概要」

山形県観光文化スポーツ部 博物館・文化財保存活用課 稲村 圭一 氏

報告遺跡「館山城跡」 米沢市教育委員会 佐藤 公保 氏

「南森遺跡7次調査」 南陽市教育委員会 角田 朋行 氏

「西田遺跡」 (公財)山形県埋蔵文化財センター 水戸部 秀樹 氏

③ 第XVI期うきたむ学講座

1回目 令和7年2月2日(日) 当館研修室 参加者 18名

—「置賜の伝統的ななりわい」をテーマとして—

講義内容 「天蚕繭の生産という生業」

守谷 英一氏(置賜民俗学会会長)

「小国マタギの現状と課題」

草刈 広一氏(NPO法人 飯豊朝日を愛する会理事長)

2回目 令和7年3月2日(日) 当館研修室 参加者 24名

—「置賜の自然」をテーマとして—

講義内容 「置賜の魚類—魚類相の成り立ちの歴史とヒトとの関わり—」

半澤 直人氏(山形大学名誉教授)

「置賜の歴史的救荒植物・かてものについての一考察」

島津 憲一氏(高畠町文化財保護会会長)

(5) 学校教育との連携

① 学校団体等の入館

学校団体等の入館希望があった場合、減免申請書とともに利用打合せ書の提出をいただくこととしている。来館の目的・利用に際しての要望等を事前に把握することで、各学校のニーズに合わせた内容や効率的な時間設定を行うためである。

館内や隣接する歴史公園の見学と、体験学習(勾玉づくり・弓矢づくり・火おこし等)を組み合わせた内容を希望する学校が多い。放課後クラブ活動や文化祭、PTA行事での利用もあり、各学校に赴く出前講座の対応も行っている。

今年度も、県内を修学旅行先とした小学校の来館はあったが、新型コロナウイルスへの規制が緩和された影響もあってか、昨年度に比べると少なかった。

〈今年度実績〉小学校8校 中学校0校 特別支援学校0校 大学1学

② 学校以外との連携

保育園・認定こども園との連携2件、放課後デイサービスとの連携2件、その他1件

(6) その他

①調査支援・協力・相談

報告書作成支援 1 件（日向洞窟西地区）

展示支援 1 件（小国町歴史民俗資料館）

②資料調査 15 件

5 月 17 日 渡邊朋和氏(新潟県)

5 月 18 日 諸星良一氏(埼玉県)

6 月 11 日 小野章太郎氏他 1 名(東北歴史博物館)

6 月 14 日 鈴木素行氏(茨城県)

7 月 5 日 納屋内高史氏(富山市)

7 月 19 日 三澤裕之氏（山形市）

7 月 20 日 菅原哲文氏(埋文センター)

8 月 2 日 岩崎義信氏(長井市)

8 月 8 日 中尾央氏(南山大学)

8 月 21 日 長井謙治氏（愛知学院大学）と学生 3 名

8 月 24 日 諸星良一氏(埼玉県)

9 月 7 日 草野潤平氏(埋文センター)

10 月 2 日 橋本勝雄氏(千葉県)

10 月 15, 16 日 石川恵美子氏（秋田県）

1 月 24 日 金 彦中氏他 1 名(東北大学大学院)

2 月 1 日 金 彦中氏他 1 名（東北大学大学院）

3 月 11 日 石川恵美子氏（秋田県）

③寒河江市教育委員会埋蔵文化財フェア「高瀬山の考古学Ⅱ―弥生時代から中世―」の後援

④全国風土記の丘協議会 総会及び研修会

日時：令和 6 年 11 月 14 日(水)・15 日(木)

会場：当館研修室（総会・講演）、よしのや（意見交換会）、高畠町・南陽市・川西町の各遺跡及び史跡（研修会）

内容：全国に 15 館ある風土記の丘の関連施設の内、8 館から参加があった。

14 日は総会後に東北芸術工科大学の北野博司教授から「人口減少社会における史跡の保存管理と整備」の演題で記念講演をして頂いた。講演では全国各地における史跡を例に挙げ、整備の現状と課題などについて、また、市民協働による保全活動の事例として、上山市での取り組みも紹介頂いた。

講演後の意見交換会では、各施設で抱える問題点や課題、史跡の保存の取り組みなどについて、各施設から発表していただいた。風土記の丘の施設は、広大な敷地を持つ所が多く、全体的に整備が行き届かない現状、また、公営の施設である故に問題が発生した際に即座に対応できない現状など、各施設で様々な課題があるということであった。

総会・意見交換会の後、高畠駅前の「よしのや」にて、情報交換会を行い、参加者から関連なご意見を頂いた。

翌 15 日は視察研修で、高畠町及び周辺市町の遺跡の視察として、瓜割石切場（高畠町）→日向

洞窟（高畠町）→押出遺跡（高畠町）→稲荷森古墳（南陽市）→下小松古墳群（川西町）→天神森古墳（川西町）の順に巡った。

風土記の丘協議会の総会・研修会は15年ぶりの当館での開催ということもあり、当時を知る職員が誰もおらず手探りで状態を当日まで準備を進めていたが、無事に開催・終了できた。

体験事業の様子

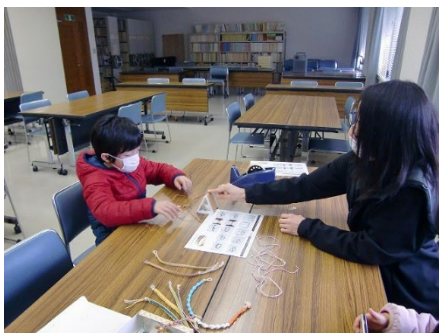
勾玉・弓矢・石器をつくろう



ガラス玉をつくろう



コースター・古代風ブレスレットをつくろう



5. 資料の活用

(1) 写真利用

利用資料	利用目的（印刷物等の名称）	利用者（発行者）	発行日など
押出遺跡 縄文カレンダー	オピニオン誌『ルネサンス』17号	ダイレクト出版株式会社	令和6年5月10日
羽山古墳全景	番組「知ってる？地元の歴史」内での使用	株式会社ニューメディア	令和6年6月1日～30日まで放送
高瀬山遺跡出土 土師器鉢、須恵器壺、墨書土器、円面硯（令和6年度特別テーマ展展示図録からの引用）	令和6年度寒河江市埋蔵文化財フェア ポスター・ちらし	寒河江市教育委員会	令和6年6月30日
押出遺跡出土 ホタテ貝の化石 石器四点	令和6年度プライム企画展「東北の自然史大図鑑—The Great Natural History of Tohoku」図録への掲載	山形県立博物館	令和6年9月28日
押出遺跡出土 彩漆土器	日本経済新聞 朝刊／電子版	日本経済新聞社	令和6年8月下旬～9月下旬
水木田遺跡出土 縄文土器 台ノ上遺跡出土 縄文土器 西ノ前遺跡出土 縄文土器 柴燈林遺跡出土 縄文土器 （第23回企画展展示図録及び第28回企画展展示図録からの引用）	『最上川流域の中期縄文文化』	菅原哲文（山形県埋蔵文化財センター）	令和6年9月
俵田遺跡出土 木製品（第31回企画展展示図録からの引用）	令和6年特別展「多賀城1300年」展示図録	東北歴史博物館	令和6年10月12日
常設展示室内復元住居他	『上郷のむかしむかし』	上郷文化財保護会	令和6年10月25日
押出遺跡出土 彩漆土器	冊子『渦巻く縄文土器』（日経新聞のものを再掲）	オリオンSP株式会社	令和6年11月15日
上の寺遺跡出土 板碑 八幡一遺跡出土 板碑 （令和6年度企画展での展示の様子）	平泉公民館歴史講座「板碑からみた中世の平泉」での講演のため	畠山篤雄（一関市教育委員会）	令和7年1月16日
押出遺跡出土 彩漆土器 他報告書掲載写真	高畠町公式Instagram	高畠町教育委員会	令和7年2月28日
押出遺跡出土 炭化食品（縄文クッキー）	日本テレビ「キントレ」内での使用	株式会社日企	令和7年3月8日放送
押出遺跡出土 炭化食品（縄文クッキー）	『ポプラディアプラス 日本の歴史』第4巻	株式会社ポプラ社	令和7年4月
押出遺跡出土 クッキー状炭化食品（縄文クッキー） 押出遺跡出土 彩漆土器2点	YouTube への動画投稿	鶴林正史（通訳案内士）	令和7年6月

(2) 刊行物一覧

名称	発行日
令和6年度特別テーマ展『遊佐町の考古学Ⅰ—旧石器時代から縄文時代—』	令和6年6月15日
第32回企画展図録『やまがたの遺跡の中のカミ・ホトケ』	令和6年9月14日
館報うきたむ63号	令和6年7月15日
館報うきたむ64号	令和6年12月1日
2024年報	令和7年3月31日

6. 入 館 者

(1) 令和 6 年度 月別入館者

月	有 料 入 館 者								無 料 入 館 者			計			合 計
	個 人		団 体		減 免 者		小 計		高校生 以下	視 察 その他		一 般	大学生	高校生 以下	
	一 般	大学生	一 般	大学生	一 般	大学生	一 般	大学生		一 般	大学生				
4	81	1	162	0	0	0	243	1	263	433	0	676	1	263	940
5	140	20	278	0	10	0	428	20	971	1,127	0	1,555	20	971	2,546
6	71	1	21	0	13	0	105	1	102	63	0	168	1	102	271
7	109	11	27	0	9	0	145	11	157	100	20	245	31	157	433
8	170	5	24	0	7	0	201	5	90	300	3	501	8	90	599
9	123	6	25	0	4	0	152	6	52	195	12	347	18	52	417
10	204	1	0	0	2	0	206	1	68	86	0	292	1	68	361
11	144	1	0	0	0	0	144	1	58	158	0	302	1	58	361
12	21	1	0	0	0	0	21	1	1	46	0	67	1	1	69
1	9	0	0	0	0	0	9	0	6	20	0	29	0	6	35
2	16	0	18	0	0	0	34	0	1	55	0	89	0	1	90
3	45	3	24	0	0	0	69	3	9	54	0	123	3	9	135
合計	1,133	50	579	0	45	0	1,757	50	1,778	2,637	35	4,394	85	1,778	6,257

(2) 主な入館団体

- 《 幼 稚 園 等 》 たかはたこども園、星の子保育園
- 《 小 学 校 》 鶴岡市立藤島小学校、鶴岡市立あさひ小学校、高畠町立亀岡小学校、
高畠町立和田小学校、高畠町立糠野目小学校、高畠町立屋代小学校
- 《 大 学 》 山形大学、立命館大学
- 《 学 校 以 外 》 米沢市教育支援センター、放課後デイサービスまかまか
- 《 出 前 講 座 》 米沢市立南部小学校、米沢市立広幡小学校、米沢市立興譲小学校、南陽市立宮内中学校

(3) 来館者アンケート

- ・押出遺跡のアンギン系のものが見たい。(宮城県 40 代女性)
- ・石器時代の石鏃など精巧に鋭利に出来ていて相当高い技術者がいたと思った。土器や展示物は質が良い。
(東京都 60 代女性)
- ・企画展示室の解説をもっと近くで見たかった。(福島県 50 代女性)
- ・復元したもので、手を触れられる展示物があると良いと思う。(県内置賜地方 50 代男性)
- ・遺構マップ(住居跡、土坑等)を充実してもらえると有難い。(埼玉県 60 代男性)
- ・地域の遺跡、古墳など知らないだけで身近な所にたくさんあったことが知れ、ためになった。
(県内置賜地方 30 代男性)

- ・住居（押出遺跡復元住居）の間取りが分かりやすい。（新潟県 30 代男性）
- ・映像による展示を増やしてほしい。細かい石の説明が多くて良かった。（滋賀県 20 代男性）
- ・体験出来るものがもう少しあると良い。実際の使用例等、具体的に分かりやすくした方が良い。（福島県 40 代男性）
- ・県内の信仰に関する出土品が見れておもしろかった。（県内置賜地方 30 代女性）
- ・実際に触れる物があると良かった。（新潟県 40 代男性）
- ・縄文時代の土器に迫力があった。（静岡県 50 代男性）
- ・置賜だけでなく県内各地の遺跡の展示があって予想以上に楽しめた。（県内村山地方 40 代女性）
- ・昭和の企画をやってほしい。（県内最上地方 10 代女性）

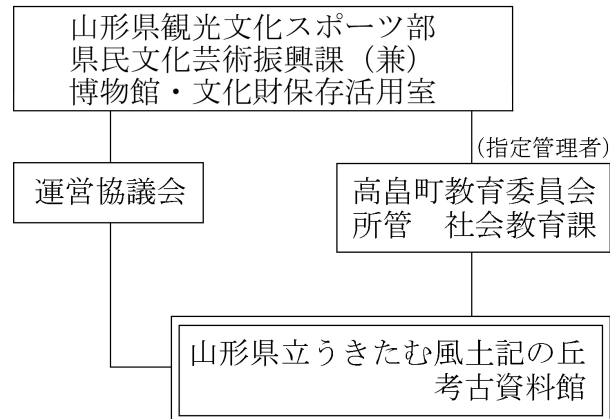
学校の見学・出前授業のようす



7. 管 理 及 び 運 営

(1) 組織・職員

[組織]



[職員]

職 名	氏 名	備 考
館 長	渋谷 孝 雄	高畠町会計年度任用職員
館 長 代 理	小林 貴 宏	高 畠 町 職 員
学 芸 員	松 本 恵 美	高畠町会計年度任用職員
学 芸 員	伊 藤 純 子	高畠町会計年度任用職員
事 務 職 員	鈴 木 昌 明	高畠町会計年度任用職員
事 務 職 員	木 村 由 紀 子	高畠町会計年度任用職員

(2) 運営協議会

【第1回】

令和6年11月7日(木) 本館研修室

会議内容

- ①運営協議会会長及び副会長の選出
- ②令和6年度考古資料館事業実施中間報告
- ③令和7年度考古資料館事業運営方針(案)

【第2回】

令和7年2月5日(水) 本館研修室

会議内容

- ①令和6年度考古資料館事業実施中間報告
- ②令和7年度考古資料館事業計画(案)
- ③その他

[本館運営協議会委員名簿]

氏 名	備 考
阿部 明彦 (副会長)	山形考古学会 会長
阿部 哲人	米沢市上杉博物館 学芸主査
石岡 かほる	上杉の御湯 御殿守 女将
岩崎 義信 (会長)	長井市観光文化交流課文化交流室 市史編纂担当
長谷川 健一	高畠町立図書館 館長
高桑 弘美	公益財団法人山形県埋蔵文化財センター 事務局長補佐
高橋 正昭	高畠町立糠野目小学校 校長

8. 受 贈 図 書

発掘調査報告書

	名 称	発 行 者
1	分布調査報告書(50)	山形県観光文化スポーツ部
2	水林下遺跡 第1～3次発掘調査報告書	公益財団法人 山形県埋蔵文化財センター
3	北向遺跡 第3・4次発掘調査報告書	公益財団法人 山形県埋蔵文化財センター
4	鶴ヶ岡城跡 第4次発掘調査報告書	公益財団法人 山形県埋蔵文化財センター
5	上本町遺跡ほか	酒田市
6	市内遺跡分布調査報告書(18)	鶴岡市教育委員会
7	豊龍館跡発掘調査報告書	朝日町教育委員会
8	延沢銀山遺跡山神社保存修理復元工事報告書	尾花沢市教育委員会
9	寒河江市内遺跡発掘調査報告書(30)	寒河江市教育委員会
10	高瀬山遺跡 H地点・N地点	チェリー不動産株式会社 株式会社三協技研
11	台ノ上遺跡 第16・17次発掘調査報告書	米沢市教育委員会
12	戸塚山古墳群発掘調査報告書 ―戸塚山古墳群調査報告書第2集―	米沢市教育委員会
13	遺跡詳細分布調査報告書 第37集	米沢市教育委員会
14	市内遺跡発掘調査報告書(31) 三嶋遺跡・岡遺跡の調査	長井市
15	南陽市字限図調査報告書(4)―中川―	南陽市教育委員会
16	南陽市字限図調査報告書(5)	南陽市教育委員会
17	南陽市遺跡分布調査報告書(12) 市内遺跡分布調査 第六次長岡南森遺跡確認調査(概報)	南陽市教育委員会
18	南陽市遺跡分調査報告書(13) 市内遺跡分布調査 第七次長岡南森確認調査(概報)	南陽市教育委員会
19	日向洞窟遺跡西地区発掘調査報告書 第2分冊 遺物写真図版編	高畠町教育委員会
20	日向洞窟遺跡西地区発掘調査報告書 第3分冊 遺物観察表編	高畠町教育委員会
21	北海道苫小牧市市内遺跡発掘調査等事業報告書3	苫小牧市教育委員会
22	青森県遺跡詳細分布調査報告書36	青森県教育委員会
23	三内丸山遺跡49―旧野球場建設予定地発掘調査報告書17 古代・中世以降編―	青森県教育委員会
24	三内丸山遺跡48―第44,45,46,47,48次調査報告書	青森市教育委員会
25	青森市内遺跡 発掘調査報告書33	青森市教育委員会
26	岩手における環状列石関連遺跡調査報告書―洋野町西平内Ⅰ遺跡発掘調査報告書―	岩手県教育委員会
27	盛岡市内遺跡群―令和3年度発掘調査報告書Ⅱ―小屋塚遺跡 第45次 里館遺跡 第68次	盛岡市教育委員会
28	百目木遺跡―第45次調査 宅地造成に伴う緊急発掘調査報告書―	盛岡市教育委員会
29	国指定遺跡 長者ヶ原廃寺跡発掘調査報告書 ―20次調査―	岩手県奥州市教育委員会
30	国指定遺跡 長者ヶ原廃寺跡発掘調査報告書 ―21次調査―	岩手県奥州市教育委員会
31	岩手県奥州市 東大畑Ⅰ遺跡 第2次調査報告書 ―事務所新築工事に伴う記録保存のための発掘調査―	株式会社一測設計
32	下永林遺跡Ⅰ 第2～7次発掘調査・盛岡広域都市計画事業 都南中央第三地区土地区画整備事業に伴う平成27～30年度発掘調査報告書	盛岡市教育委員会
33	下永林遺跡Ⅱ 第8～9次発掘調査・盛岡広域都市計画事業 都南中央第三地区土地区画整理事業に伴う令和元～2年度発掘調査報告書	盛岡市教育委員会
34	砂子沢Ⅲ遺跡発掘調査報告書	遠野市教育委員会
35	殿屋敷遺跡・似内遺跡・蒔田Ⅰ遺跡	花巻市教育委員会
36	令和3年度・令和4年度調査 花巻市内遺跡発掘調査報告書 花巻城跡 三之丸 武家屋敷跡	花巻市教育委員会
37	平成30年度～令和5年度調査 花巻城本丸発掘調査報告書 本丸御殿編	花巻市教育委員会
38	平泉遺跡群発掘調査報告書	平泉町教育委員会
39	名勝 旧親自在王院庭園発掘調査報告書Ⅴ ―第14次調査―	平泉町教育委員会
40	特別史跡毛越寺境内附鎮守社跡保存修理事業	宗教法人 毛越寺
41	馬場野遺跡・二子城跡	北上市教育委員会
42	烏海柳遺跡	北上市教育委員会
43	八天遺跡(第8次調査)	北上市教育委員会
44	北上市内試掘調査報告	北上市教育委員会
45	陸前高田市内遺跡発掘調査報告書(平成23～26年度)	陸前高田市教育委員会
46	陸前高田市内遺跡発掘調査報告書(平成27～令和2年度)	陸前高田市教育委員会

47	茱萸ノ木遺跡 —通常砂防事業(オンドの沢)に係る埋蔵文化財発掘調査報告書—	秋田県教育委員会
48	久保田城跡 —あきた芸術劇場整備事業に係る埋蔵文化財発掘調査報告書—	秋田県教育委員会
49	北ノ又沢Ⅲ遺跡 —成瀬ダム建設事業に係る埋蔵文化財発掘調査報告書Ⅱ—	秋田県教育委員会
50	小平沢出口遺跡 小佛遺跡 —雄物川河川激甚災害対策特別緊急事業に係る埋蔵文化財発掘調査報告書—	秋田県教育委員会
51	秋田県遺跡詳細分布調査報告書	秋田県教育委員会
52	払田柵遺跡 —第158次調査・関連遺跡の調査概要—	秋田県教育委員会
53	秋田城跡Ⅲ —焼山地区—	秋田市教育委員会
54	蟹沼遺跡 —農地中間管理機構関連ほ場整備事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書—	横手市教育委員会
55	彦右工門橋窯跡・吹付窯跡・吹付C窯跡国道4号大衡道路拡幅工事関連遺跡発掘調査報告書Ⅰ	宮城県教育委員会
56	小田切A遺跡	宮城県教育委員会
57	後沢道南遺跡・後沢遺跡 —(仮称)栗原インターチェンジ整備事業に係る発掘調査報告書—	宮城県教育委員会
58	大古山瓦窯跡Ⅲ	宮城県多賀城跡調査研究所
59	月浜のえんずのわり えんずのわり岩屋の調査報告書	東松島市教育委員会
60	馬牛館跡	白石市教育委員会
61	寺前遺跡 —令和2年度:農業競争力強化基盤整備事業関連遺跡調査報告書Ⅱ—	柴田町教育委員会
62	入間野平城館跡 —令和2年度:調査受託事業発掘調査報告書—	柴田町教育委員会
63	東洞明田遺跡 —令和3年度:農業競争力強化基盤整備事業関連遺跡調査報告書Ⅲ—	柴田町教育委員会
64	王佐yy柴田町の遺跡 —平成31～令和3年度発掘調査報告書	柴田町教育委員会
65	上野山古墳群 —令和5年度 発掘調査報告書—	柴田町教育委員会
66	阿津賀志山防塁史跡整備調査概報7ほか 阿津賀志山防塁(測量調査) —東・西国見地区—	国見町教育委員会
67	店舗建築に伴う埋蔵文化財発掘調査業務 大槻城跡(城の内遺跡) —第4次発掘調査報告書—	郡山市教育委員会
68	正直古墳群調査保存事業 正直古墳群 —第6次発掘調査報告—	郡山市教育委員会
69	考古資料整備活用業務 阿良久遺跡 —第5・6次発掘調査報告書—	郡山市教育委員会
70	宅地造成に伴う埋蔵文化財発掘調査業務 上之内遺跡 —第2次発掘調査報告書—	郡山市教育委員会
71	個人住宅建築に伴う埋蔵文化財発掘調査業務 徳定A・B遺跡 —第7次発掘調査報告書—	郡山市教育委員会
72	店舗及び道路建設に伴う埋蔵文化財発掘調査業務 大槻古墳群 —遺構確認調査報告書—	郡山市教育委員会
73	郡山市埋蔵文化財分布調査報告29	郡山市教育委員会
74	郡山市埋蔵文化財分布調査報告30	郡山市教育委員会
75	前田川大塚古墳2 福島県須賀川市前田川大塚古墳第2次調査報告書 大仏古墳群2 福島県須賀川市大仏古墳群第2次調査報告書	福島大学行政政策学類考古学研究室
76	今井北原遺跡 中堀東遺跡 一般国道50号(前橋笠懸道路)建設事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書	公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団
77	柳田遺跡 一般国道50号(前橋笠懸道路)建設事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書	公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団
78	倉賀野下樋越遺跡	公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団
79	厚田橋詰遺跡 上信自動車道吾妻東バイパス事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書	公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団
80	堀之内北遺跡 (一)南新井前橋線バイパス4期工区事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書	公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団
81	池ノ沢遺跡 上信自動車道吾妻東バイパス事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書	公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団
82	八幡原遺跡 (一)下沢渡原線(原町Ⅱ期工区)単独道路改築事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書	公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団
83	国指定史跡荒船・東谷風穴蚕種貯蔵所跡 荒船風穴蚕種貯蔵所跡調査報告書14	下仁田町教育委員会
84	泉坂下遺跡Ⅶ —保存整備事業に伴う第6次確認調査報告—	常陸大宮市教育委員会
85	宿尻遺跡 —久慈川・那珂川流域の再葬墓Ⅰ—	常陸大宮市教育委員会
86	小野天神前遺跡 —久慈川・那珂川流域の再葬墓Ⅱ—	常陸大宮市教育委員会
87	令和3年度常陸大宮市内遺跡発掘調査報告	常陸大宮市教育委員会
88	令和4年度常陸大宮市内遺跡発掘調査報告	常陸大宮市教育委員会
89	木更津市文化財調査集報29	木更津市教育委員会
90	千束台遺跡群発掘調査報告書ⅩⅡ —塚原遺跡Ⅲ・真武根陣屋跡Ⅰ—	木更津市教育委員会
91	千束台遺跡群発掘調査報告書ⅩⅢ —塚原古墳群—	木更津市教育委員会
92	世田谷区 下野毛遺跡Ⅶ —都営野毛一丁目団地(第2期)建替事業に伴う埋蔵文化財発掘調査—	東京都埋蔵文化財センター
93	北区 道合遺跡(第10次調査) —東京都計画道路補助線街路第85号線(赤羽台Ⅱ期)整備事業に伴う埋蔵文化財発掘調査—	東京都埋蔵文化財センター
94	豊島区長崎1丁目周辺遺跡2 —都道補助第172号線整備事業に伴う調査—	東京都埋蔵文化財センター
95	日野市平山遺跡 —(日野バイパス(延伸))建設事業に伴う埋蔵文化財発掘調査 その2—	東京都埋蔵文化財センター

96	日野市平山遺跡 ―一般国道20号(日野バイパス(延伸))建設事業に伴う埋蔵文化財発掘調査その2―	東京都埋蔵文化財センター
97	田園調布本町26番遺跡発掘調査報告書	猿渡雅紀 株式会社CEL 大田区教育委員会
98	台東区元草遺跡-都立白鷗高等学校付属中学校仮設校舎建設に伴う埋蔵文化財調査―	東京都埋蔵文化財センター
99	一般国道17号 六日町バイパス関係発掘調査報告書6 余川中道遺跡Ⅳ 第6次調査	公益財団法人 新潟県埋蔵文化財調査事業団
100	一般国道17号 六日町バイパス関係発掘調査報告書7 一般国道253号 八箇峠道路関係発掘調査報告書4 六日町藤塚遺跡Ⅱ 第7・8次調査	公益財団法人 新潟県埋蔵文化財調査事業団
101	一般国道8号 柏崎バイパス関係発掘調査報告書19 丘江遺跡Ⅵ 第4・6・8～11次調査 本文編	公益財団法人 新潟県埋蔵文化財調査事業団
102	一般国道8号 柏崎バイパス関係発掘調査報告書19 丘江遺跡Ⅵ 第4・6・8～11次調査 図版編	公益財団法人 新潟県埋蔵文化財調査事業団
103	下黒岩原遺跡 令和6年度(-)安中富岡線(西毛広域幹線道路安中富岡工区)に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書	公益財団法人 群馬県埋蔵文化財調査事業団
104	天竜遺跡 上信自動車道吾妻東バイパス事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書	公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団
105	小泉天神西遺跡 上信自動車道吾妻東バイパス事業に伴う埋蔵文化財発掘調査発掘調査報告書	公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団
106	西上之宮遺跡(1) ―中世墓編― 一級河川利根川(伊勢崎・玉村工区)河川改修事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書	公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団
107	令和5年度 加茂市内遺跡確認調査報告書 釜淵遺跡 鬼倉遺跡	加茂市教育委員会
108	長岡市内遺跡発掘調査報告書	長岡市教育委員会
109	城地免西遺跡	長岡市教育委員会
110	芦ヶ崎入り遺跡 ―石黒川第2号砂防堤整備事業に伴う発掘調査報告書―	津南町教育委員会
111	樽ノ木平遺跡 ―第三次調査報告書―	津南町教育委員会
112	柏崎市の遺跡33 ―新潟県柏崎市内遺跡 令和4(2022)年度試掘調査等報告書―	柏崎市教育委員会
113	滋賀県内遺跡発掘調査報告書 令和5年度埋蔵文化財緊急調査費国庫補助事業(県内遺跡発掘調査等)	滋賀県文化スポーツ部文化財保護課
114	大津市 惣山・京ヶ山遺跡	公益財団法人滋賀県文化財保護協会
115	大津市 里西遺跡	公益財団法人滋賀県文化財保護協会
116	犬上郡多賀町 大門池南遺跡	公益財団法人滋賀県文化財保護協会
117	香芝市埋蔵文化財発掘調査概報 30	香芝市教育委員会
118	畑(岡)城跡 第一次発掘調査 ―二上山麓における山城跡の調査―	香芝市教育委員会
119	瓦口森田遺跡 ―令和5年度発掘調査―	香芝市教育委員会
120	上池田遺跡2 福岡県朝倉市杷木池田所在遺跡の調査	朝倉市教育委員会
121	志波原遺跡2	朝倉市教育委員会
122	栗山遺跡Ⅵ 福岡県朝倉市平塚所在遺跡の調査	朝倉市教育委員会
123	黒川院Ⅵ 福岡県朝倉市黒川所在中世黒川院関連遺跡群の調査 百石遺跡 実相寺跡	朝倉市教育委員会
124	平成29年7月九州北部豪雨福岡県朝倉市文化財レスキュー事業報告書	朝倉市教育委員会
125	山後山古墳群第3次調査 福岡県朝倉市須川所在遺跡の調査	朝倉市教育委員会
126	女男石護岸施設 福岡県朝倉市長谷山・千手所在遺跡の調査	朝倉市教育委員会

展示図録

	名 称	発 行 者
1	特別展 上杉氏と鷹と馬	米沢市上杉博物館
2	特別展 上杉茂憲 最後の藩主と米沢士族	米沢市上杉博物館
3	AINU ART モレウのうた	公益財団法人アイヌ民族文化財団
4	アットウシと太布 糸がつなぐ文化	公益財団法人アイヌ民族文化財団
5	恵みの海と縄文 陸奥湾と三内丸山	三内丸山遺跡センター
6	海がむすぶ縄文 津軽海峡と三内丸山	三内丸山遺跡センター
7	令和6年度是川縄文館特別展図録 縄文の編組の研究	八戸市埋蔵文化財センター是川縄文館
8	令和6年度秋季企画展 合掌土偶ができたころ	八戸市埋蔵文化財センター是川縄文館
9	第28回企画展 崎山貝塚発見100th	宮古市教育委員会事務局文化課 崎山貝塚縄文の森ミュージアム
10	多賀城1300年 令和6年度特別展	東北歴史博物館
11	浦尻貝塚縄文の丘公園オープン記念企画展 縄文 みなみそうま	南相馬市博物館
12	松方正義と那須野が原	那須野が原博物館
13	岩宿博物館80回企画展岩澤正作 ―カケラ先生と呼ばれた考古学者―	岩宿博物館
14	令和6年度企画展 ―おしゃれな古代人― 古墳時代の装い	埼玉県立さきたま史跡の博物館

15	令和6年度企画展 縄文文化のはじまり ～ハケ上遺跡全部見せます～	富士見市立水子貝塚資料館
16	歴博色尽くし	国立歴史民俗博物館
17	国立歴史民俗博物館資料図録13 生田コレクション鼓胴	国立歴史民俗博物館
18	企画展示 歴史の未来 ―過去を伝えるひと・もの・データ―	国立歴史民俗博物館
19	千葉県立房総のむら風土記の丘資料館	千葉県立房総のむら
20	異形土器 縄文時代の不思議なうつわ	松戸市立博物館
21	縄文時代の不思議な道具	山梨県立考古博物館
22	令和6年度 夏季企画展 大・佐渡島	新潟県立歴史博物館
23	開館30周年記念 令和6年度長野県立歴史館夏季企画展 疾風怒涛 木曾義仲	長野県立歴史館
24	開館三〇周年記念 令和6年度冬季企画展 佐久間象山 遺墨展 ～書は人なり～	長野県立歴史館
25	開館30周年記念 春季企画展 四天王寺と古代王権	大阪府立近つ飛鳥博物館
26	近つ飛鳥博物館開館30周年記念・百舌鳥・古市古墳群世界遺産登録5周年記念令和6年度夏季 特別展	大阪府立近つ飛鳥博物館
27	令和6年度秋季特別展「発掘された日本列島2024」地域展	大阪府立弥生文化博物館 大阪府立近つ飛鳥博物館
28	令和6年度 春季企画展 大塚春嶺 没後80年回顧展	南丹市立文化博物館
29	令和6年度秋季特別展没後40年 麻田辨自展	南丹市立文化博物館
30	令和5年度特別展 古代交通の要衝	香芝市二上山博物館
31	令和6年度特別展 金剛砂王 安川亀太郎の功績	香芝市二上山博物館
32	香芝市二上山博物館25周年記念かしばの文化財 香芝悠久の歴史	香芝市二上山博物館
33	令和6年度秋期特別展 数多の古墳を築く ―群集墳からよむ古墳時代―	和歌山県立紀伊風土記の丘

館報・年報

	名 称	発 行 者
1	会報 やまがたのミュージアム	山形県博物館連絡協議会
2	年報 ねまらっしやい 令和5年度	芭蕉、清風歴史資料館
3	まなびあテラス年次報告書	東根市公益文化施設まなびあテラス
4	年報公営財団法人上山城郷土資料館	公益財団法人 上山城郷土資料館
5	斎藤茂吉記念館年報	公益財団法人斎藤茂吉記念館
6	米沢市上山博物館 令和3年度年報	米沢市上山博物館
7	青森県立郷土館報	青森県立郷土館
8	三内丸山遺跡センター要覧	三内丸山遺跡センター
9	一戸町文化財年報	一戸町教育委員会
10	年報 ―令和5年度―	八戸市埋蔵文化財センター是川縄文館
11	盛岡市遺跡の学び館館報	盛岡市遺跡の学び館
12	宮古市崎山貝塚縄文の森ミュージアム年報	宮古市崎山貝塚縄文の森ミュージアム
13	北上市埋蔵文化財年報	北上市立埋蔵文化財センター
14	岩手大学平泉文化研究センター年報	国立大学法人岩手大学平泉文化研究センター
15	平泉学研究年報	世界遺産平泉保存活用推進実行委員会
16	平泉文化研究年報	岩手大学平泉文化研究センター
17	秋田県埋蔵文化財センター年報	秋田県埋蔵文化財センター
18	秋田県立博物館年報	秋田県立博物館
19	東北歴史博物館年報	東北歴史博物館
20	宮城県多賀城跡調査研究所年報2023	宮城県多賀城跡調査研究所
21	那珂川町なす風土記の丘資料館 令和5年度年間活動記録報告書	那珂川町教育委員会
22	国立歴史民俗博物館 要覧	国立歴史民俗博物館
23	松戸市立博物館年報	松戸市立博物館
24	東京都埋蔵文化財センター年報	東京都埋蔵文化財センター
25	十日町博物館年報	十日町市博物館
26	岐阜県博物館報	岐阜県博物館
27	大阪府立近つ飛鳥博物館館報	大阪府立近つ飛鳥博物館
28	伝統芸能文化創生プロジェクト2023年度事業報告書	伝統芸能アーカイブ&リサーチオフィス

29	同志社大学歴史資料館館報	同志社大学歴史資料館
30	桜井市纏向学研究センター年報	桜井市纏向学研究センター
31	令和4年度紀伊風土記の丘年報第50号 紀伊風土記の丘研究紀要 第12号	和歌山県立紀伊風土記の丘
32	朝倉市文化財年報(令和2年度)	朝倉市教育委員会
33	朝倉市文化財年報(令和3年度)	朝倉市教育委員会
34	朝倉市文化財年報(令和4年度)	朝倉市教育委員会
35	大分県立歴史博物館年報	大分県立歴史博物館

研究紀要

	名 称	発 行 者
1	山形県埋蔵文化財センター研究紀要 第16号	公益財団法人山形県埋蔵文化財センター
2	山形県埋蔵文化財センター研究紀要 第17号	公益財団法人山形県埋蔵文化財センター
3	歴史遺産研究	東北芸術工科大学芸術学部歴史遺産学科
4	浦幌町立博物館紀要	浦幌町立博物館
5	青森県立郷土館研究紀要	青森県立郷土館
6	特別史跡三内丸山遺跡研究紀要	三内丸山遺跡センター
7	八戸市博物館 研究紀要	八戸市博物館
8	八戸市埋蔵文化財センター是川縄文館研究紀要	八戸市埋蔵文化財センター是川縄文館
9	北上市立埋蔵文化財センター紀要	北上市立埋蔵文化財センター
10	秋田県立博物館研究報告	秋田県立博物館
11	東北歴史博物館研究紀要	東北歴史博物館
12	地底の森ミュージアム・縄文の森広場研究報告2023	仙台市富沢遺跡保存会 仙台市縄文の森広場
13	福島県文化財センター白河館研究紀要	公益財団法人福島県文化振興財団
14	那須野が原博物館紀要	那須塩原市那須野が原博物館
15	群馬県立歴史博物館研究紀要	公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団
16	國學院大學博物館研究報告 第41輯	國學院大學博物館
17	國學院大學博物館學紀要 第48輯	國學院大學博物館學研究室
18	國學院大學博物館學研究 第3号	國學院大學博物館學研究室
19	埼玉県立史跡の博物館紀要 第17号	埼玉県立史跡の博物館
20	埼玉県立史跡の博物館紀要 第18号	埼玉県立さきたま史跡の博物館
21	松戸市立博物館紀要	松戸市立博物館
22	貝塚博物館紀要	千葉市立加曾利貝塚博物館
23	公益社団法人日本文化財保護協会 紀要	公益社団法人日本文化財保護協会
24	書陵部紀要	宮内庁書陵部
25	書陵部紀要(陵墓篇)	宮内庁書陵部
26	東京国立博物館紀要	東京国立博物館
27	MUSEUM 東京国立博物館研究誌 No.706	東京国立博物館
28	MUSEUM 東京国立博物館研究誌 No.707	東京国立博物館
29	MUSEUM 東京国立博物館研究誌 No.708	東京国立博物館
30	MUSEUM 東京国立博物館研究誌 No.709	東京国立博物館
31	MUSEUM 東京国立博物館研究誌 No.710	東京国立博物館
32	MUSEUM 東京国立博物館研究誌 No.711	東京国立博物館
33	資源環境と人類 明治大学黒曜石研究センター紀要	明治大学黒曜石研究センター
34	新潟県立歴史博物館研究紀要 第24号	新潟県立歴史博物館
35	新潟県立歴史博物館研究紀要 第25号	新潟県立歴史博物館
36	野尻湖ナウマンゾウ博物館研究報告	野尻湖ナウマンゾウ博物館
37	大手前大学史学研究所紀要	大手前大学史学研究所
38	纏向学研究センター研究紀要 第12号	桜井市纏向学研究センター
39	纏向学研究センター研究紀要 第13号	桜井市纏向学研究センター
40	大分県立歴史博物館 研究紀要	大分県立歴史博物館
41	山形県立博物館研究報告	山形県立博物館

42	岐阜県博物館調査研究報告	岐阜県立博物館
43	鳥浜貝塚研究8	福井県立若狭歴史博物館
44	元興寺文化財研究所研究報告	公益財団法人元興寺文化財研究所
45	研究論集X X XⅧ	東京都埋蔵文化財センター

資料目録

	名 称	発 行 者
1	南陽市民大学講座 実施報告書	南陽市民大学講座運営委員会/南陽市教育委員会
2	国史跡山王岡遺跡の研究 V 土器編3(西区Ⅵ層・Ⅶ層出土土器編)	弘前大学人文社会科学部 北日本考古学研究センター
3	八戸市博物館開館40年記念シンポジウム根城・再考Ⅲ ～中世根城南部家の一年～ 資料集	八戸市博物館
4	八戸市博物館開館40年記念シンポジウム根城・再考Ⅲ ～中世根城南部家の一年～ 記録集	八戸市博物館
5	北東北三県考古学会合同公開シンポジウム 北東北の平安時代墓制	岩手考古学会
6	奥松島縄文村講座 縄文を語る記録集	奥松島縄文村歴史資料館
7	蔵王山麓の縄文文化と谷地遺跡	蔵王町教育委員会
8	古代東北の城柵・官衙遺跡	古代城柵官衙遺跡検討会50周年記念大会実行委員会
9	持続する普及の力 普及の歴史書	公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団
10	「ペン先形ナイフ」の再検討」 予稿集	岩宿博物館
11	日本列島および東ユーラシアにおける細石刃石器群の展開	明治大学黒曜石研究センター
12	長野県立歴史館収蔵文書目録23 川田宿西澤家文書(8-13)	長野県立歴史館
13	磯間岩陰遺跡の研究 ―図版編―	田辺市教育委員会科学研究費磯間岩陰遺跡研究班
14	磯間岩陰遺跡の研究 ―考古報告編―	田辺市教育委員会科学研究費磯間岩陰遺跡研究班
15	磯間岩陰遺跡の研究 ―分析・考察編―	田辺市教育委員会科学研究費磯間岩陰遺跡研究班

学術雑誌

	名 称	発 行 者
1	山形県地域史研究	山形県地域史研究協議会
2	山形史学研究	山形史学研究会
3	米沢史学	米沢史学会
4	茨城県考古学協会誌 南のサメ歯 資料篇	茨城県考古学協会
5	茨城県考古学協会誌 北のサメ歯 補訂篇	茨城県考古学協会
6	茨城県考古学協会誌 西のサメ歯 牙鏃編	茨城県考古学協会
7	筑波大学先史学・考古学研究 ムカシオオホホジロザメの考古学	筑波大学人文社会科学部研究科歴史・人類学専攻
8	文化財学雑誌 第20号	鶴見大学文化財学会
9	文化財学雑誌 第21号	鶴見大学文化財学会

単行本

	名 称	発 行 者
1	山形の城と戦国世界	保角里志
2	最上川流域の中期縄文文化	菅原哲文
3	ハツ場の考古学 ―古の記憶―	公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団
4	現代食文化論	建帛社
5	Q&Aで読む縄文時代入門	吉川弘文館

雑誌

	名 称	発 行 者
1	REKIHAKU 特集 蔵書をヒラク	国立歴史民俗博物館
2	REKIHAKU 特集 カメラ越しの世界	国立歴史民俗博物館
3	REKIHAKU 特集 3Dからみえる研究	国立歴史民俗博物館
4	推しごと！まるごと！仙台市博物館	仙台市博物館
5	歴史研究の最前線 伝説がかたるもの	総研大日本歴史研究コース・国立歴史民俗博物館

6	Renaissance ルネサンス Vol.17	ダイレクト出版
7	西川町大井沢自然博物館研究史 寒河江川流域自然史研究	西川町町立大井沢自然博物館
14	日本歴史 日本歴史学会編集 5月号	吉川弘文館
15	日本歴史 日本歴史学会編集 10月号	吉川弘文館

その他

	名 称	発 行 者
1	5万分の1地質図幅説明書 赤湯	山形県
2	山形県文化財日常管理・防災 ハンドブック[美術工芸品]	山形県観光文化スポーツ部博物館・文化財活用課
3	河北町誕生70周年記念誌 未来へつなぐ河北のあゆみ	河北町
4	史跡小山崎遺跡整備基本計画書	遊佐町教育委員会
5	長井市史 通史第四巻 近代編	長井市
6	山形県川西町文化財 地域に伝わる文化財 私達の保護活動でこれからも伝え続ける	川西町 川西町文化財保護協会
7	アイヌ民族文化財団のあらし	公益財団法人アイヌ民族文化財団
8	ainu people -history and culture-	公益財団法人アイヌ民族文化財団
9	秋山紀行から展望する考古と民俗の交差	津南町教育委員会
10	苗場山麓の土器文様 ―縄文土器の文様変遷史―	津南町教育委員会
11	社会科資料集 6年	光文書院
12	にいがた秋の文化財一斎公開2024ガイドブック	新潟県観光文化スポーツ部文化課
13	抜翠のつづり その八十四	(株)クマヒラ

2024／年報

令和 7 年（2025 年）3 月 31 日

編集・発行 〒992-0302

山形県東置賜郡高畠町大字安久津 2117

山形県立うきたむ風土記の丘考古資料館

TEL 0238-52-2585

FAX 0238-52-4665

印刷

カトヤ印刷